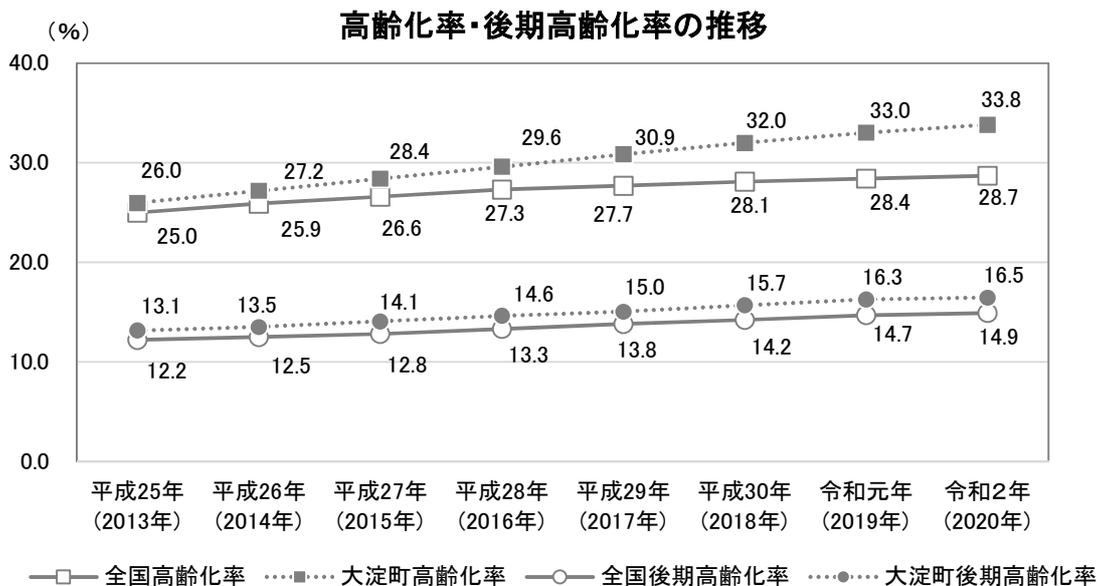
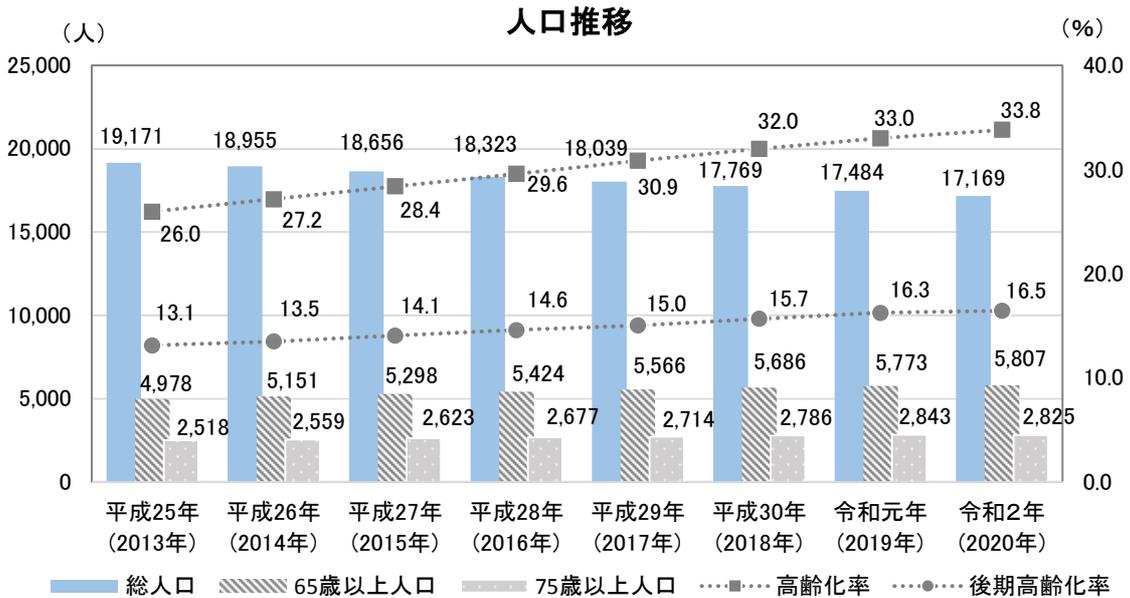


第2章 障がいのある人を取り巻く現状と課題

1 人口と高齢化率

本町の総人口は減少傾向で推移しており、令和2年度では17,169人となっています。一方で、65歳以上人口及び高齢化率（総人口に占める65歳以上人口の割合）については増加傾向となっており、令和2年度には5,807人で33.8%と、全国の高齢化率より高い水準で推移しています。



資料：大淀町は住民基本台帳（各年9月末）
 全国は総務省統計局「人口推計」（各年10月1日、令和2年は概算値）

2 障がいのある人の状況

(1) 身体障がい者（児）の状況

①年齢別身体障害者手帳所持者数

身体障害者手帳の所持者数を年齢別にみると、令和元年度で、18歳未満が13人、18歳以上が919人で、計932人となっています。また、総人口に占める身体障害者手帳所持者の割合は横ばい状態で推移しています。

【身体障害者手帳所持者数の推移（年齢階層別）】

(単位:人)

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
18 歳未満	15	14	13
18～64 歳	204	192	189
65 歳以上	745	739	730
合 計	964	945	932
総人口	17,911	17,612	17,336
割合 (%)	5.38	5.37	5.38

(各年度 3 月 31 日現在、総人口は住民基本台帳人口)

②身体障害者手帳所持者の等級別構成比

等級別構成をみると、各年度とも1級が最も多く、次いで4級が多い状態で推移しています。

【身体障害者手帳所持者の等級別構成の推移】

(単位:人)

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
1 級	292	280	277
2 級	141	139	134
3 級	161	157	159
4 級	245	244	238
5 級	78	77	72
6 級	47	48	52
合 計	964	945	932

(各年度 3 月 31 日現在)

③身体障害者手帳所持者の障がい種別構成

障がいの種別構成をみると、いずれの年度も肢体不自由が最も多く、次いで内部障害が多くなっています。

【身体障害者手帳所持者の障がい種別構成の推移】

(単位:人)

	全 体	視覚障害	聴覚障害・ 平衡機能	音声・言語 機能障害	肢体不自由	内部障害
平成 29 年度	964	75	86	24	586	259
平成 30 年度	945	73	88	23	561	262
令和元年度	932	72	90	20	535	268

※障がい種別には重複が含まれており、身体障害者手帳保持者数の実数と一致しません。

(各年度 3 月 31 日現在)

④身体障害者手帳所持者の障がい種別の等級の分布

身体障害者手帳所持者の障がい種別の等級の分布をみると、視覚障害、音声・言語機能障害、内部障害は 1 級、聴覚障害・平衡機能は 4 級及び 6 級、肢体不自由は 4 級が最も多くなっています。

【身体障害者手帳所持者の障がい種別の等級の分布】

(単位:人)

	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	合 計
視覚障害	31	18	12	3	5	3	72
聴覚障害・平衡機能	7	19	18	23	0	23	90
音声・言語機能障害	10	5	3	2	0	0	20
肢体不自由	90	98	95	162	65	25	535
内部障害	168	8	39	53	0	0	268
合 計	306	148	167	243	70	51	985

※障がい種別には重複が含まれており、身体障害者手帳保持者数の実数と一致しません。

(令和 2 年 3 月 31 日現在)

(2) 知的障がい者（児）の状況**①年齢別療育手帳所持者数**

療育手帳所持者数は、令和元年度で18歳未満が42人、18歳以上が138人で、計180人となっています。また、総人口に占める療育手帳所持者の割合は微増傾向で推移しています。

【年齢別療育手帳所持者数の推移】

(単位:人)

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
18 歳未満	50	47	42
18～64 歳	114	123	129
65 歳以上	7	8	9
合 計	171	178	180
総人口	17,911	17,612	17,336
割合 (%)	0.95	1.01	1.04

(各年度 3 月 31 日現在、総人口は住民基本台帳人口)

②療育手帳所持者の障がい程度別構成

障がいの程度別構成をみると、令和元年度はA（最重度・重度）が79人、B（中・軽度）が101人となっています。

【療育手帳所持者の障がい程度別構成の推移】

(単位:人)

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
A	80	81	79
B	91	97	101
合計	171	178	180

(各年度 3 月 31 日現在)

(3) 精神障がい者の状況**①精神障害者保健福祉手帳所持者数**

精神障害者保健福祉手帳所持者数は、令和元年度で171人となっています。また、総人口に占める精神障害者保健福祉手帳所持者の割合は微量ではありますが増加傾向にあります。

【精神障害者保健福祉手帳所持者数の推移】

(単位:人)

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
所持者	134	154	171
総人口	17,911	17,612	17,336
割合 (%)	0.75	0.87	0.99

(各年度3月31日現在、総人口は住民基本台帳人口)

②精神障害者保健福祉手帳所持者の等級別構成

手帳所持者の等級別構成は、各年度とも2級が最も多くなっており、令和元年度は115人となっています。

【精神障害者保健福祉手帳所持者の等級別構成の推移】

(単位:人)

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
1 級	17	18	20
2 級	91	103	115
3 級	26	33	36
合計	134	154	171

(各年度3月31日現在)

(4) 難病患者（特定疾患認定患者）の状況

難病患者について、特定疾患認定患者数の年次推移をみると下表のとおりで、令和元年度は186人となっています。

【特定疾患認定患者数の推移】

(単位:人)

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
総 数	175	178	186

(各年度3月31日現在)

なお、障害者総合支援法によるサービスの対象疾患は、平成27(2015)年1月時点で151疾病、さらに令和元(2019)年7月現在、333疾病に拡大されました。

※ 障害者総合支援法における難病の定義 第4条抜粋

治療方法が確立していない疾病その他の特殊の疾病であって政令で定めるものによる障害の程度が厚生労働大臣が定める程度である者。

(5) 障害支援区分認定者

障がい者に対する介護給付の必要度を表す6段階の区分で、介護給付の必要度に応じて適切なサービス利用が可能

令和元年度では、区分内訳は、「区分3」が32人で最も多くなっています。これに次いで「区分4」が22人となっています。

【障害支援区分認定者数（全体）の推移】

(単位:人)

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
区分 6	26	25	21
区分 5	21	20	20
区分 4	33	25	22
区分 3	28	28	32
区分 2	16	20	21
区分 1	2	2	0
非該当	0	0	0
合計	126	120	116

(各年度 3 月 31 日現在)

主な障がい種別で障害支援区分認定者数をみると、令和元年度は知的障がい者の認定者数が50人で最も多くなっています。内訳をみると、身体障がい者は「区分6」が15人で最も多く、知的障がい者は「区分4」(14人)が多くなっています。精神障がい者は「区分3」(12人)が多くなっています。

【障害支援区分認定者数（主たる障がい種別）の推移】

(単位:人)

	身体障がい	知的障がい	精神障がい	合 計
区分 6	15	6	0	21
区分 5	6	13	1	20
区分 4	3	14	5	22
区分 3	8	12	12	32
区分 2	5	5	11	21
区分 1	0	0	0	0
合計	37	50	29	116

(令和 2 年 3 月 31 日現在)

(6) サービス支給決定及び受給の状況

サービス支給決定の状況をみると、平成29年に204人だった支給決定者数が令和2年には217人となっています。

また、支給決定を受けてサービスを利用した人（受給者）は令和2年で189人となっており、平成29年から2人（1.01倍）増加しています。

障がい別にみると、令和2年10月現在、支給決定者、受給者ともに知的障がい者が最も多く、次いで障がい児、身体障がい者及び精神障がいの順となっています。

【支給決定者数の推移】

(単位：人)

		平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
全 体	支給決定	204	209	215	217
	受給者	187	193	191	189
身体障がい者	支給決定	51	49	49	48
	受給者	48	45	44	41
知的障がい者	支給決定	65	63	63	62
	受給者	60	62	60	60
精神障がい者	支給決定	41	47	52	48
	受給者	37	39	43	37
障がい児	支給決定	47	50	51	59
	受給者	42	47	44	51

(各年10月現在)

【受給者の障害支援区分】

(単位：人)

	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	全 体	区分なし	合 計
全 体	0	20	32	24	19	22	117	100	217
身体障がい	0	5	8	4	5	16	38	10	48
知的障がい	0	5	12	16	13	6	52	10	62
精神障がい	0	10	12	4	1	0	27	21	48
障がい児	0	0	0	0	0	0	0	59	59

(令和2年10月現在)

※「区分なし」は、障がい児、同行援護、訓練等給付（自立訓練、就労系サービス、グループホーム）利用者です。

3 アンケート調査からみた現状と課題

(1) アンケート調査の概要

本調査は、大淀町障がい者基本計画策定にあたり、障がいのある人の日常生活の状況、将来への希望、考え方などを把握するとともに、計画策定の基礎資料として障がい者福祉の推進を図ることを目的として実施しました。

■「障がい福祉に関するアンケート調査」の実施概要

	調査区分
(1) 調査対象	令和2年8月1日現在、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳のいずれかを所持している人
(2) 調査方法	郵送配布・郵送回収
(3) 配布数	1,180人
(4) 有効回収数 [有効回収率]	630人 [53.4%]
(5) 調査期間	令和2年9月2日(水)～9月30日(水)

■「障がい福祉に関する事業所アンケート調査」の実施概要

	調査区分
(1) 調査対象	大淀町に所在する障がい福祉サービス事業所
(2) 調査方法	eメール配布・eメール回収
(3) 配布数	25件
(4) 有効回収数 [有効回収率]	19件 [76.0%]
(5) 調査期間	令和2年11月6日(金)～11月20日(金)

■「障がい福祉に関する団体ヒアリング調査」の実施概要

	調査区分
(1) 調査対象	大淀町に所在する障がい者関連5団体
(2) 調査方法	郵送配布・郵送回収・面談
(3) 調査期間	令和2年12月

図表中に以下の表示がある場合は、複数回答を依頼した質問を示しています。

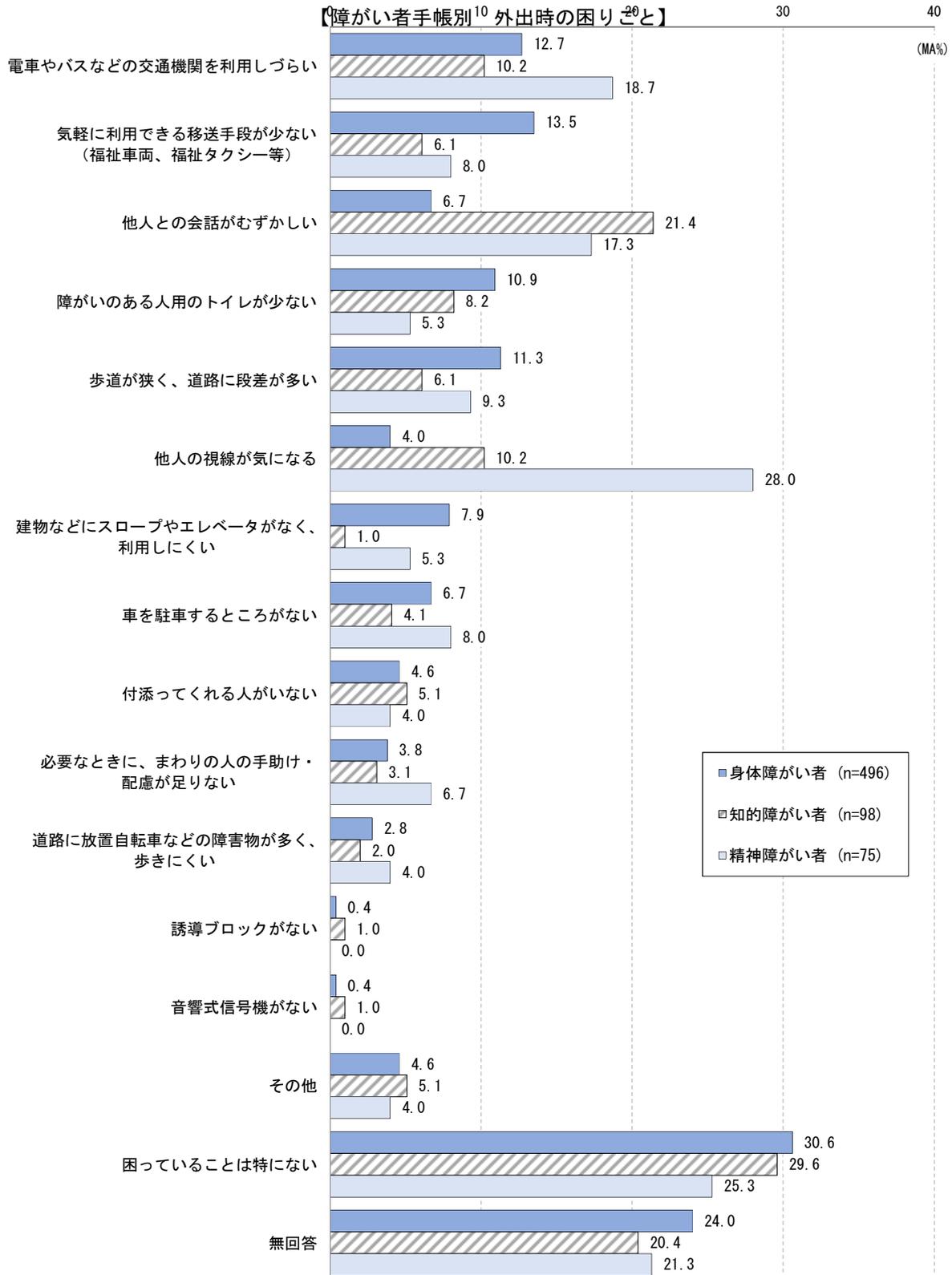
- ・ MA % (Multiple Answer) : 回答選択肢の中からあてはまるものをすべて選択する場合
- ・ 3LA% (3 Limited Answer) : 回答選択肢の中からあてはまるものを3つ以内で選択する場合

※特に断りがない限り、単一回答(回答選択肢の中からあてはまるものを1つだけ選択する)形式の設問

(2) 障がい福祉に関するアンケート調査結果

① 外出時の困りごと

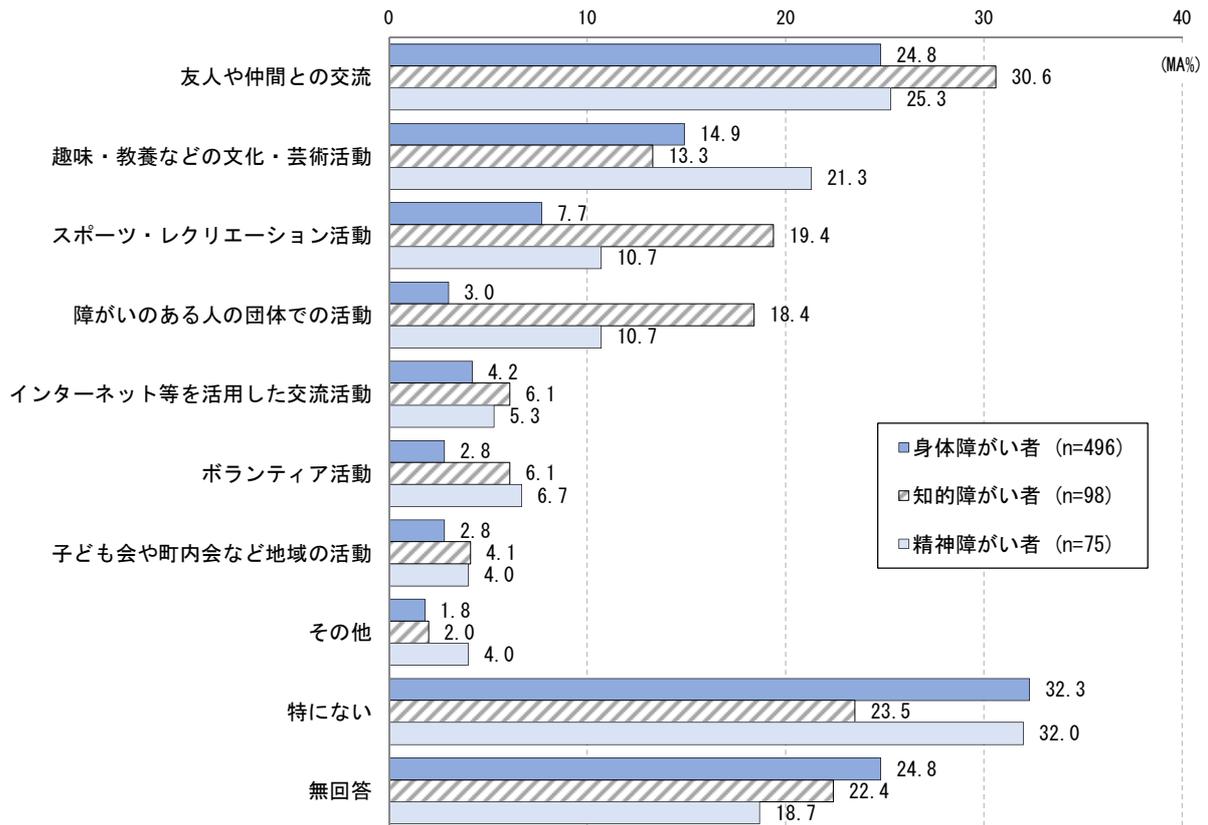
外出の際に困っていることを障がい者手帳別にみると、身体障がい者では「気軽に利用できる移送手段が少ない（福祉車両、福祉タクシー等）」が13.5%、知的障がい者では「他人との会話がむずかしい」が21.4%、精神障がい者では「他人の視線が気になる」が28.0%と、それぞれ最も多くなっています。



② 社会参加活動に対する意向

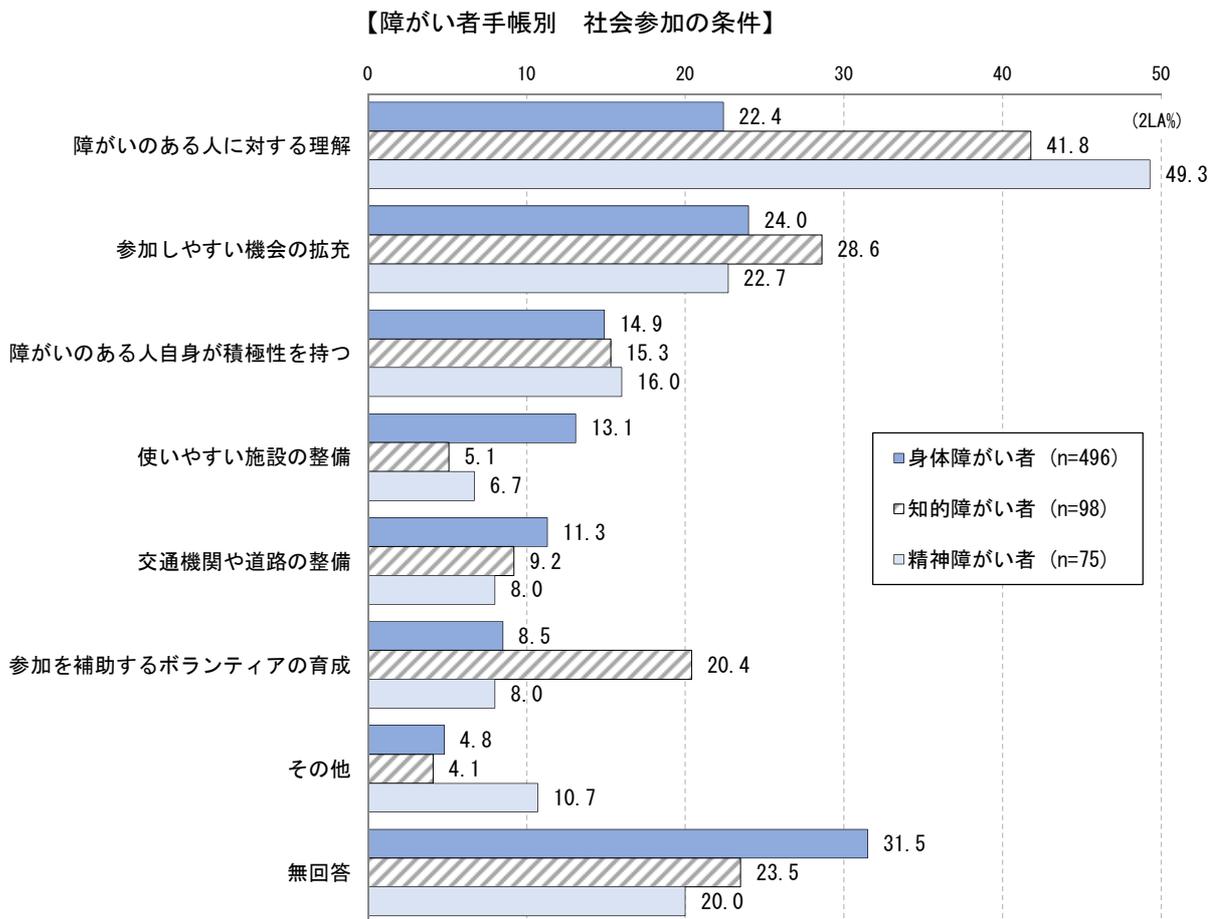
今後の生活の中で充実させたいこと（新たに始めたいこと）について、障がい者手帳別にみると、いずれも「友人や仲間との交流」が最も多く、特に知的障がい者で30.6%と高くなっています。また、精神障がい者で「趣味・教養などの文化・芸術活動」が21.3%、知的障がい者で「スポーツ・レクリエーション活動」が19.4%、「障がいのある人の団体での活動」が18.4%と、それぞれ高い割合となっています。

【障がい者手帳別 社会参加活動に対する意向】



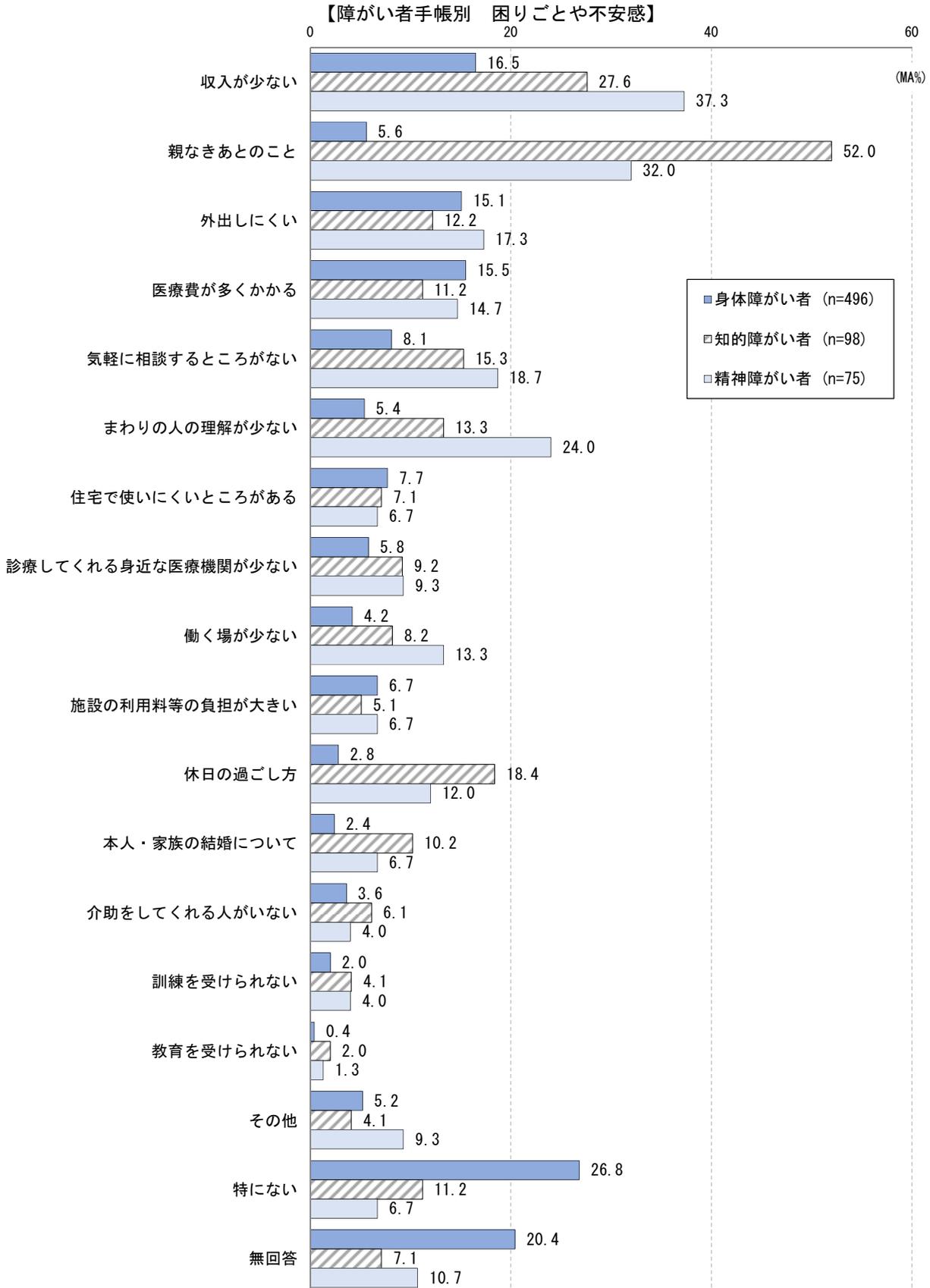
③ 社会参加の条件

地域や社会に参加できるようにするために大切なことについて、障がい者手帳別に見ると、「障がいのある人に対する理解」が精神障がい者で49.3%、知的障がい者で41.8%と、ともに最も多くなっているのに対し、身体障がい者では「参加しやすい機会の拡充」が24.0%と最も多くなっています。また、「参加を補助するボランティアの育成」が知的障がい者で20.4%と高くなっています。



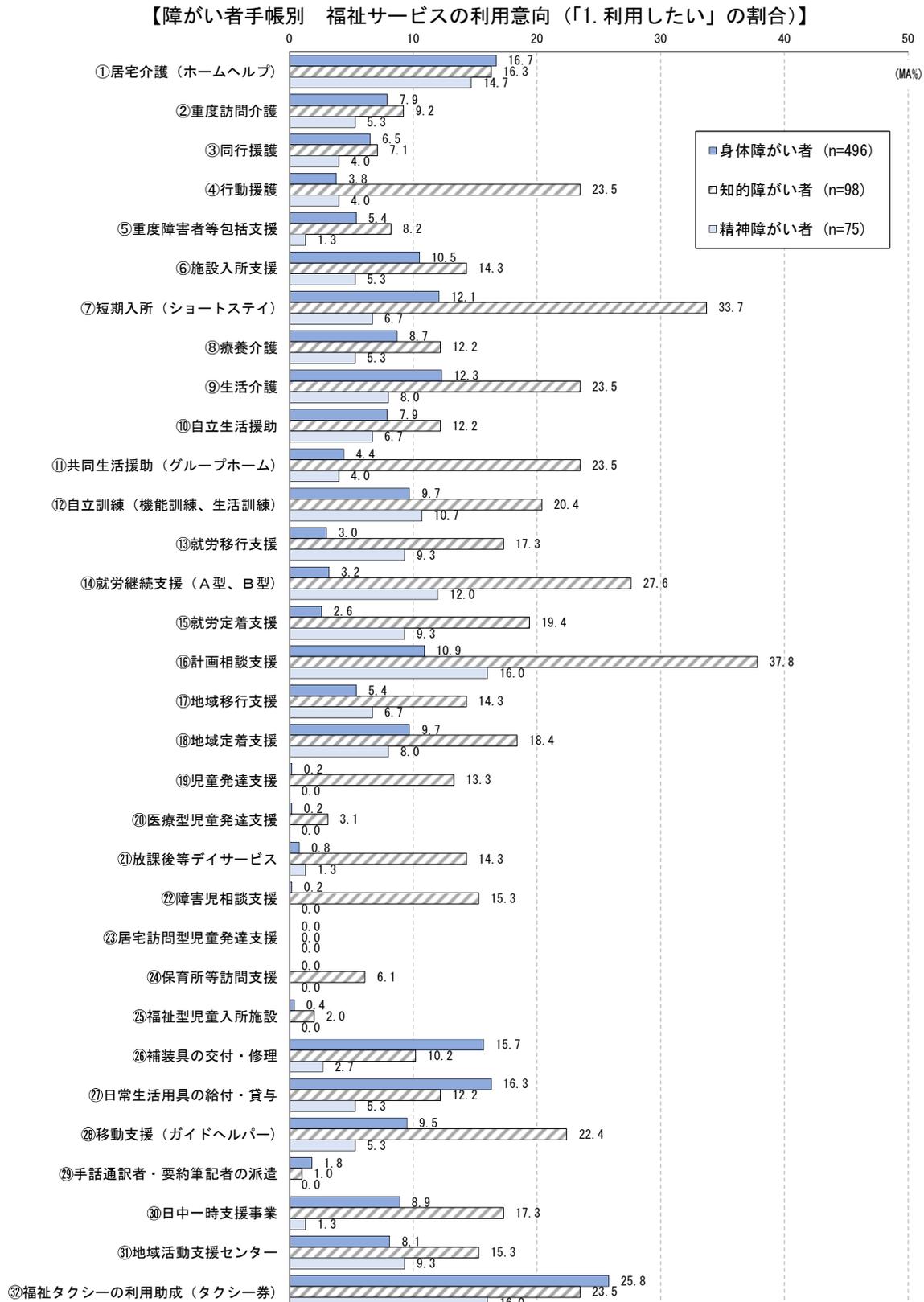
④ 困りごとや不安感

現在の生活での困りごとや不安感について、障がい者手帳別にみると、いずれも「収入が少ない」が多く、特に精神障がい者で37.3%と高くなっています。また、「親なきあとのこと」も知的障がい者で52.0%、精神障がい者で32.0%と高い割合となっています。



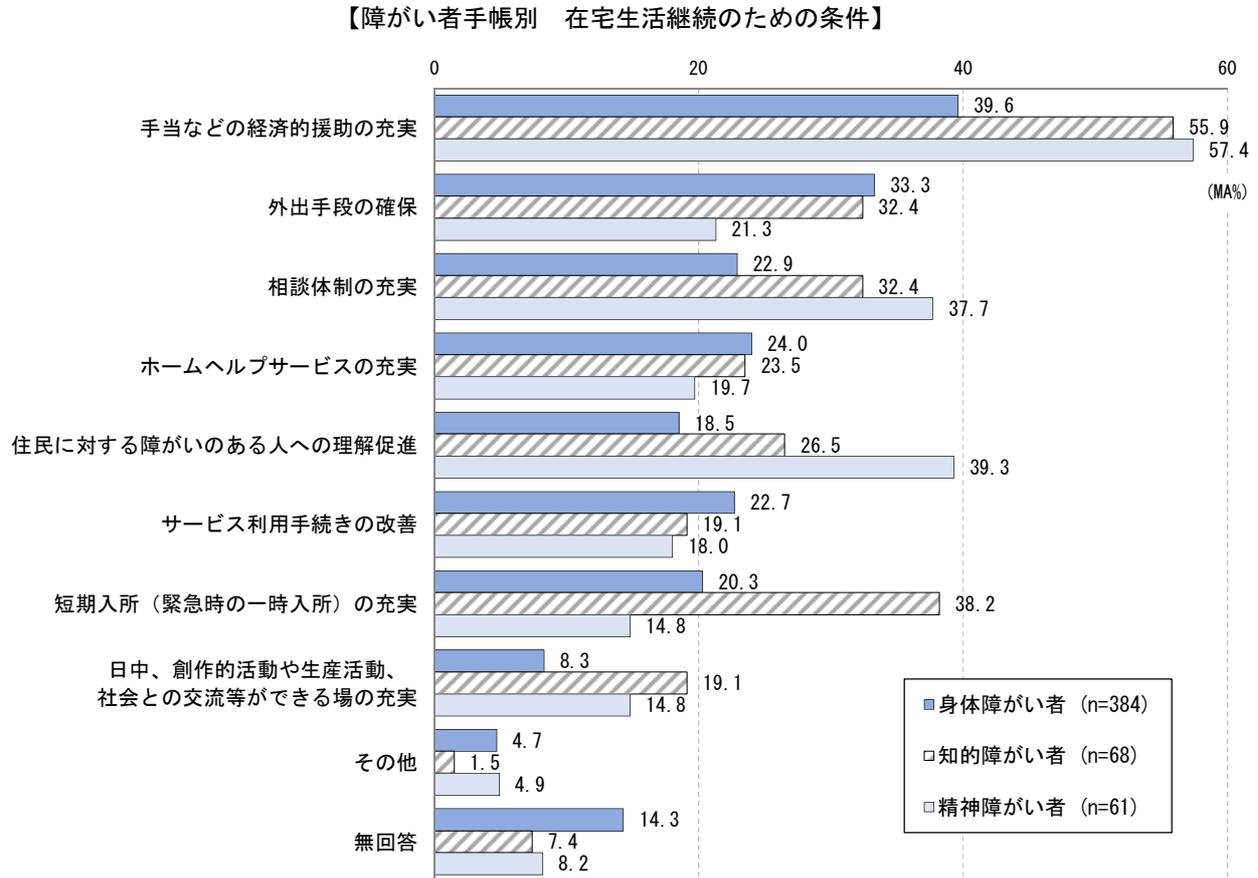
⑤ 福祉サービスの利用意向

今後利用したいと思う福祉サービスについて、障がい者手帳別にみると、身体障がい者では『⑳福祉タクシーの利用助成（タクシー券）』で25.8%、知的障がい者では『⑯計画相談支援』で37.8%、『㉑短期入所（ショートステイ）』で33.7%、精神障がい者では『⑯計画相談支援』、『㉑福祉タクシーの利用助成（タクシー券）』でともに16.0%と、それぞれ多くなっています。



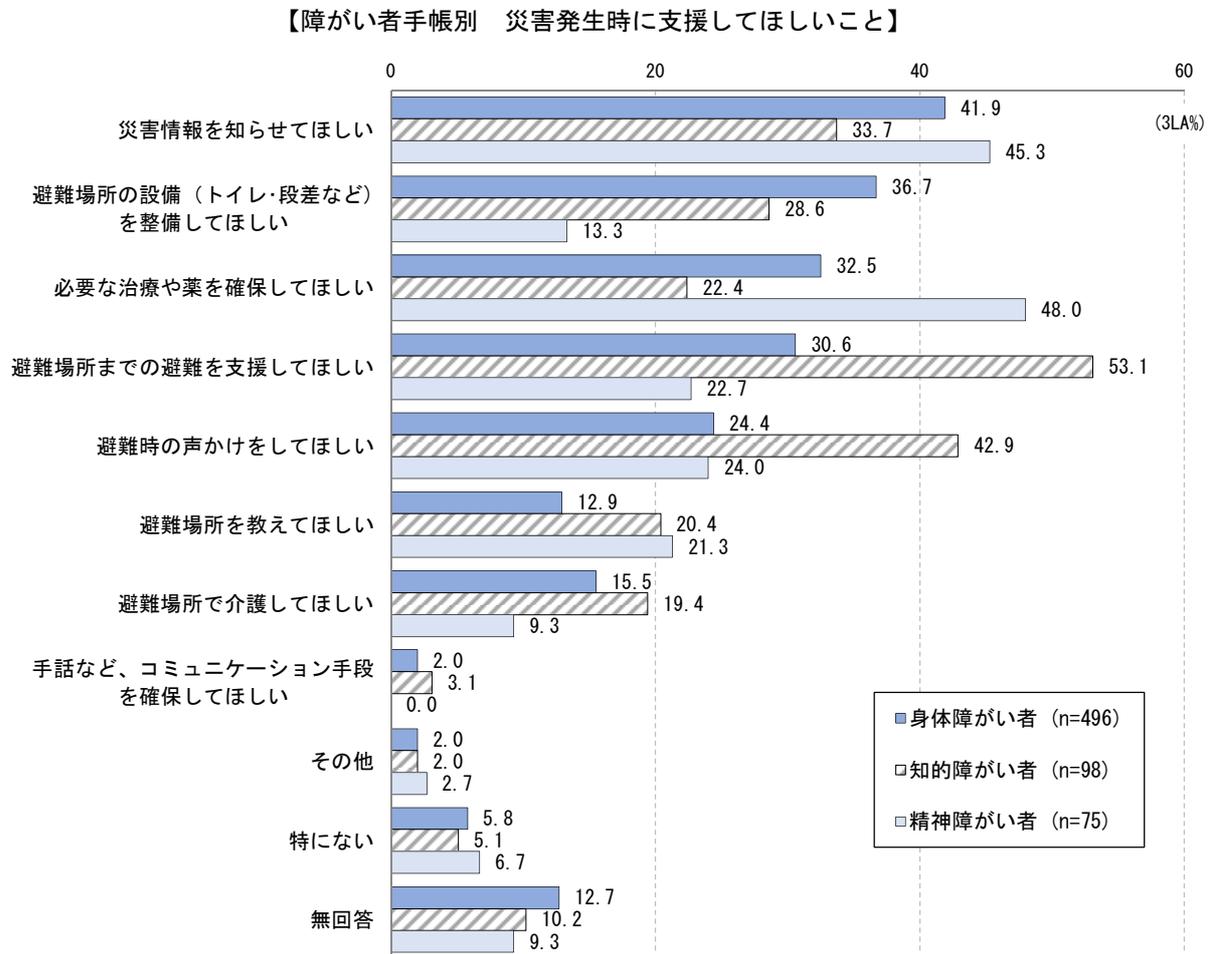
⑥ 在宅生活継続のための条件

在宅での生活を続けるための条件について、障がい者手帳別にみると、いずれも「手当などの経済的援助の充実」が最も多いものの、身体障がい者で39.6%に対し、精神障がい者では57.4%、知的障がい者では55.9%と高くなっています。



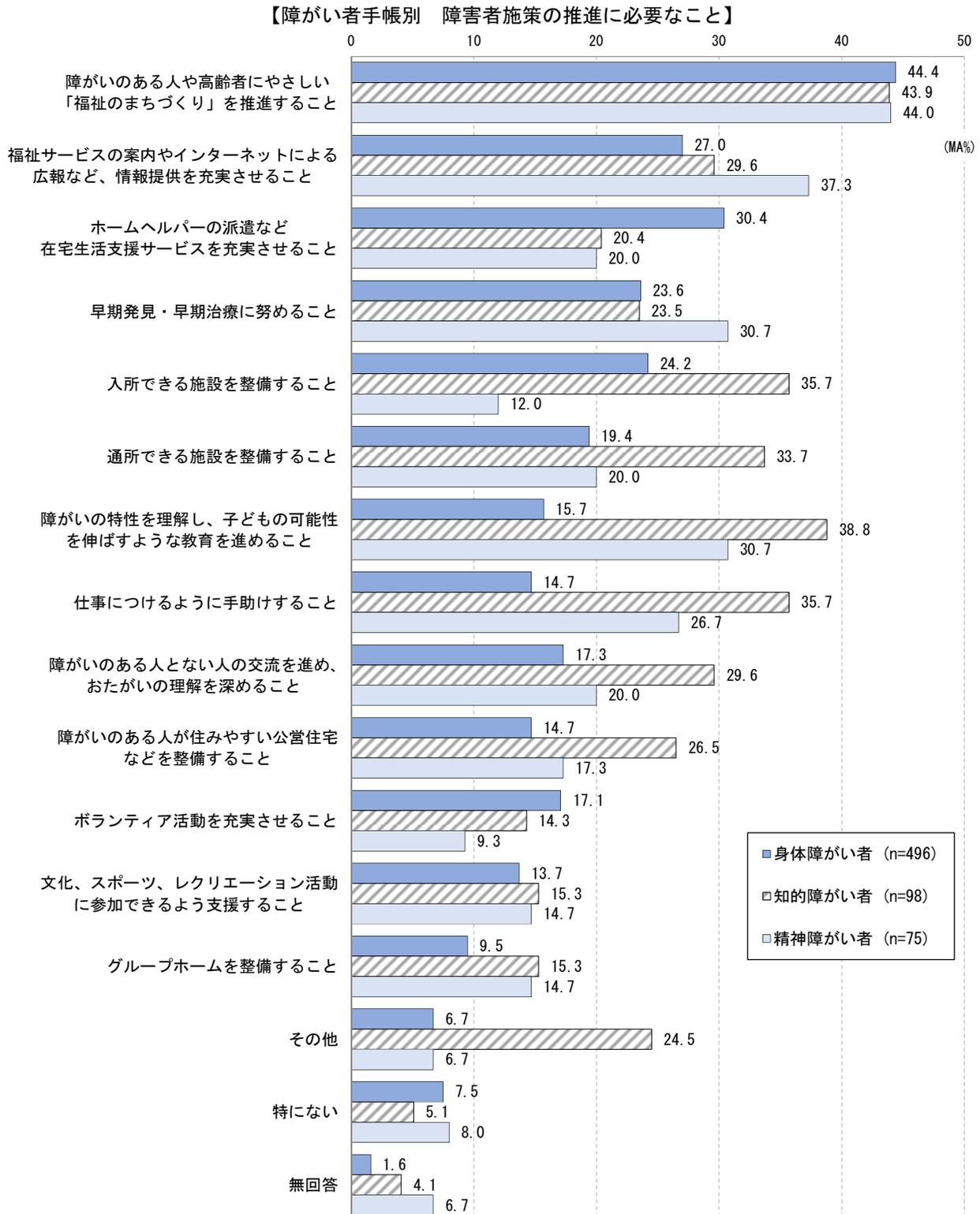
⑦ 災害発生時の支援

災害発生時に支援してほしいことについて、障がい者手帳別にみると、身体障がい者では「災害情報を知らせてほしい」が41.9%、知的障がい者では「避難場所までの避難を支援してほしい」が53.1%、精神障がい者では「必要な治療や薬を確保してほしい」が48.0%と、それぞれ最も多くなっています。



⑧ 障がい者施策の推進に必要なこと

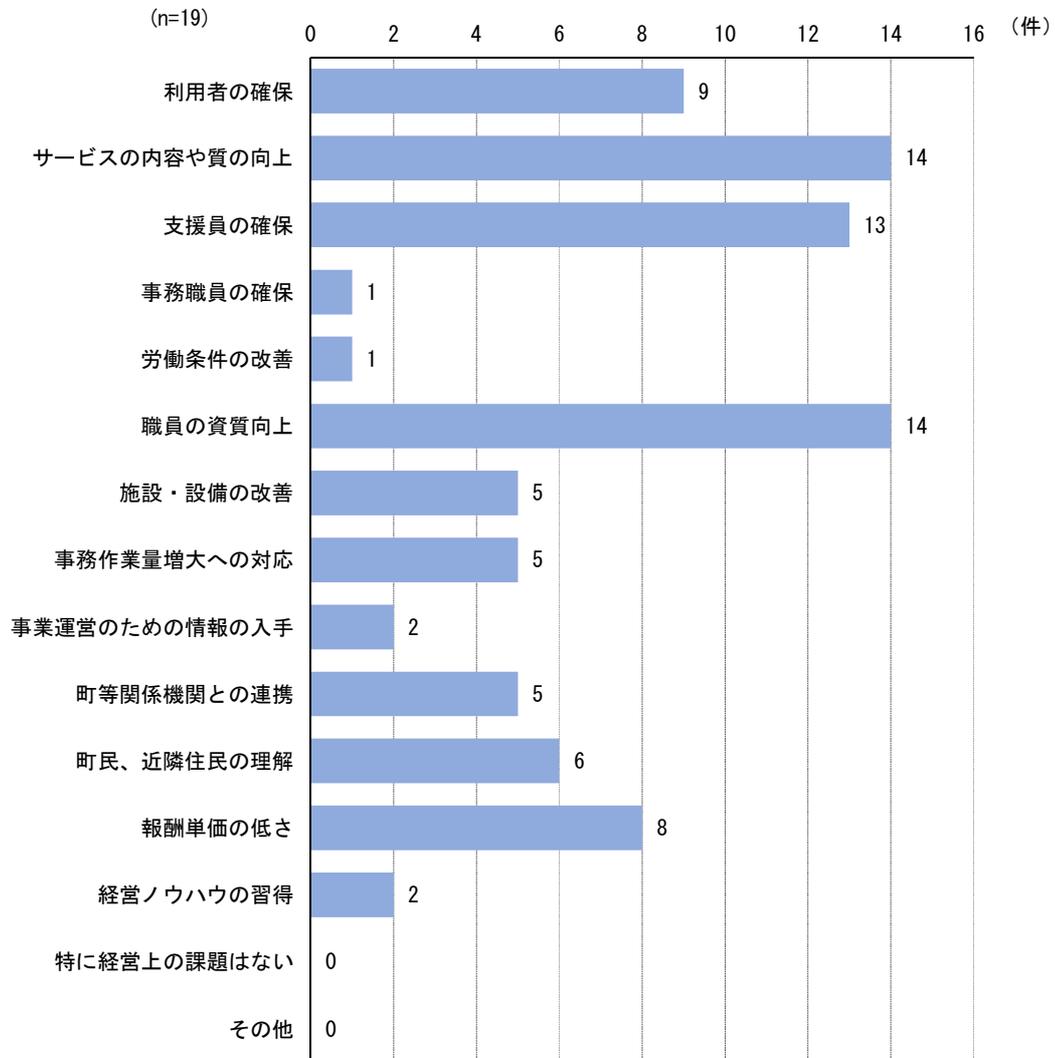
障がいのある人の施策を進めていくにあたり、充実が必要なことについて、障がい者手帳別にみると、いずれも「障がいのある人や高齢者にやさしい「福祉のまちづくり」を推進すること」が4割台と最も多くなっている。これに続くのが、身体障がい者では「ホームヘルパーの派遣など在宅生活支援サービスを充実させること」で30.4%、知的障がい者では「障がいの特性を理解し、子どもの可能性を伸ばすような教育を進めること」で38.8%、精神障がい者では「福祉サービスの案内やインターネットによる広報など、情報提供を充実させること」で37.3%となっています。



(3) 障がい福祉に関する事業所アンケート調査結果

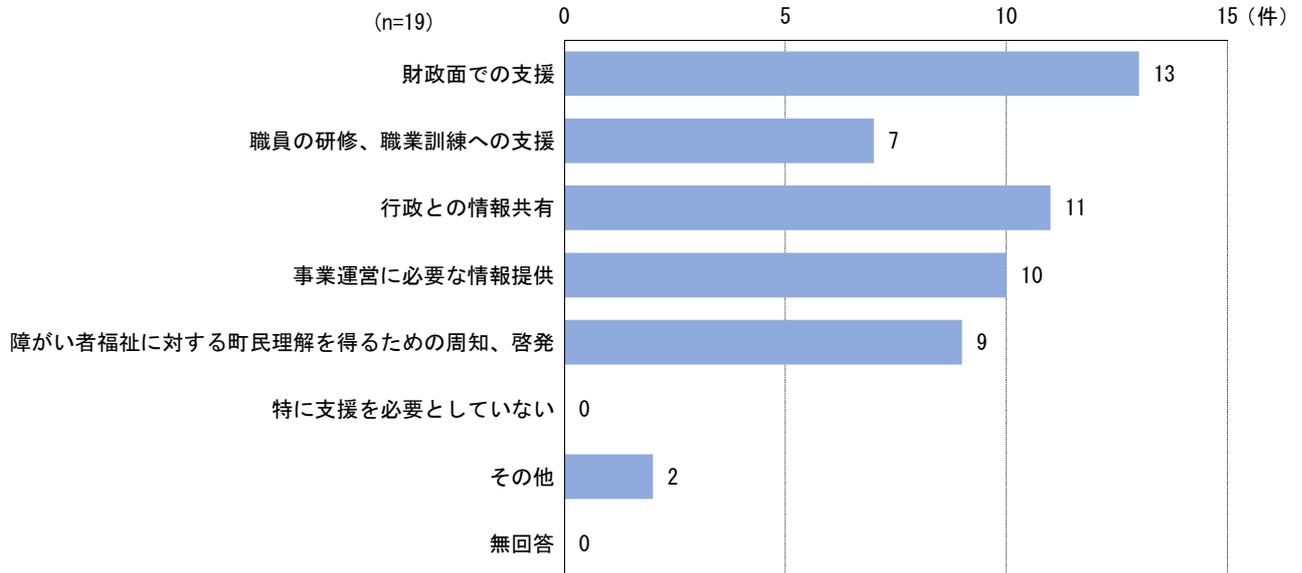
① 改善したい経営上の課題

円滑な事業運営のために改善したい経営上の課題としては、「サービスの内容や質の向上」「職員の資質向上」が各14件と最も多く、次いで、「支援員の確保」が13件となっています。



② 行政等の関係機関からの必要な支援

今後の事業運営にあたり、行政等の関係機関からの必要な支援としては、「財政面での支援」が13件と最も多く、次いで「行政との情報共有」が11件、「事業運営に必要な情報提供」が10件となっています。

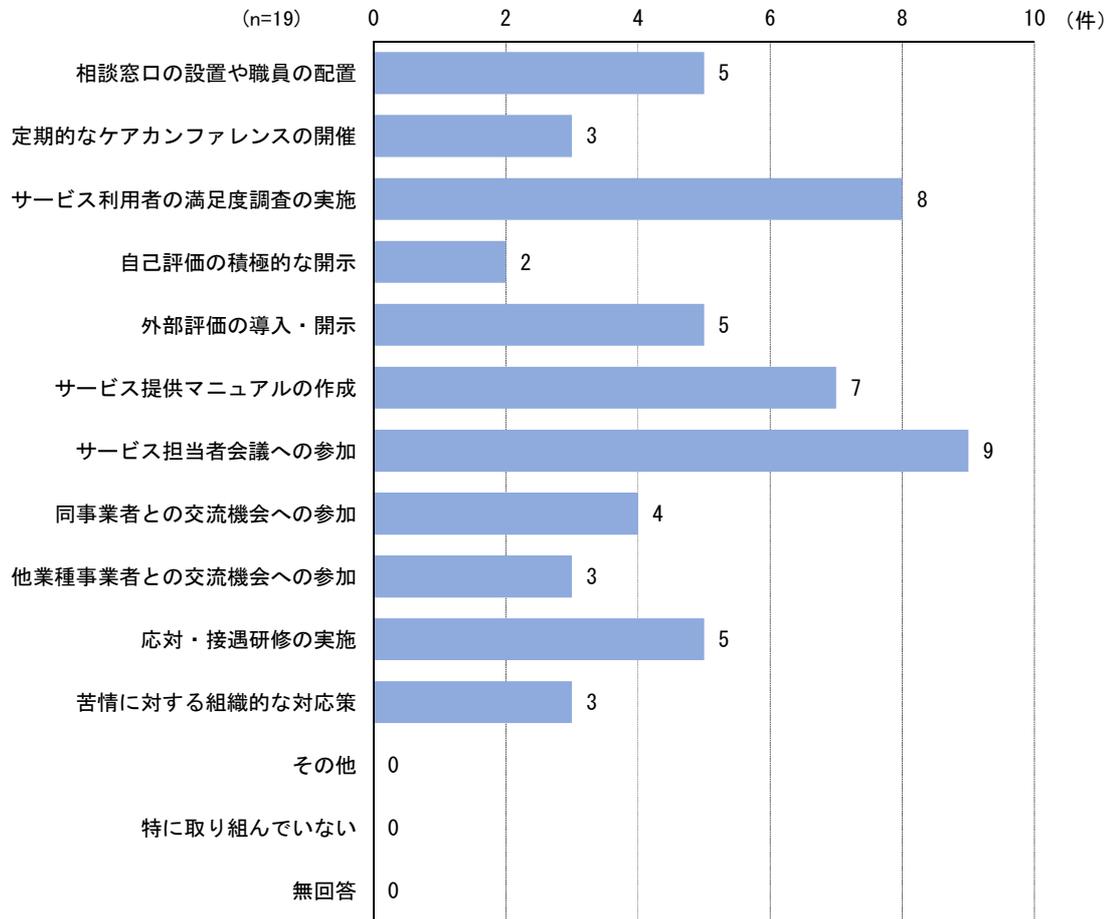


<その他の意見>

内 容	件数
支援員の確保のための情報。	1件
有資格者などの紹介。	1件

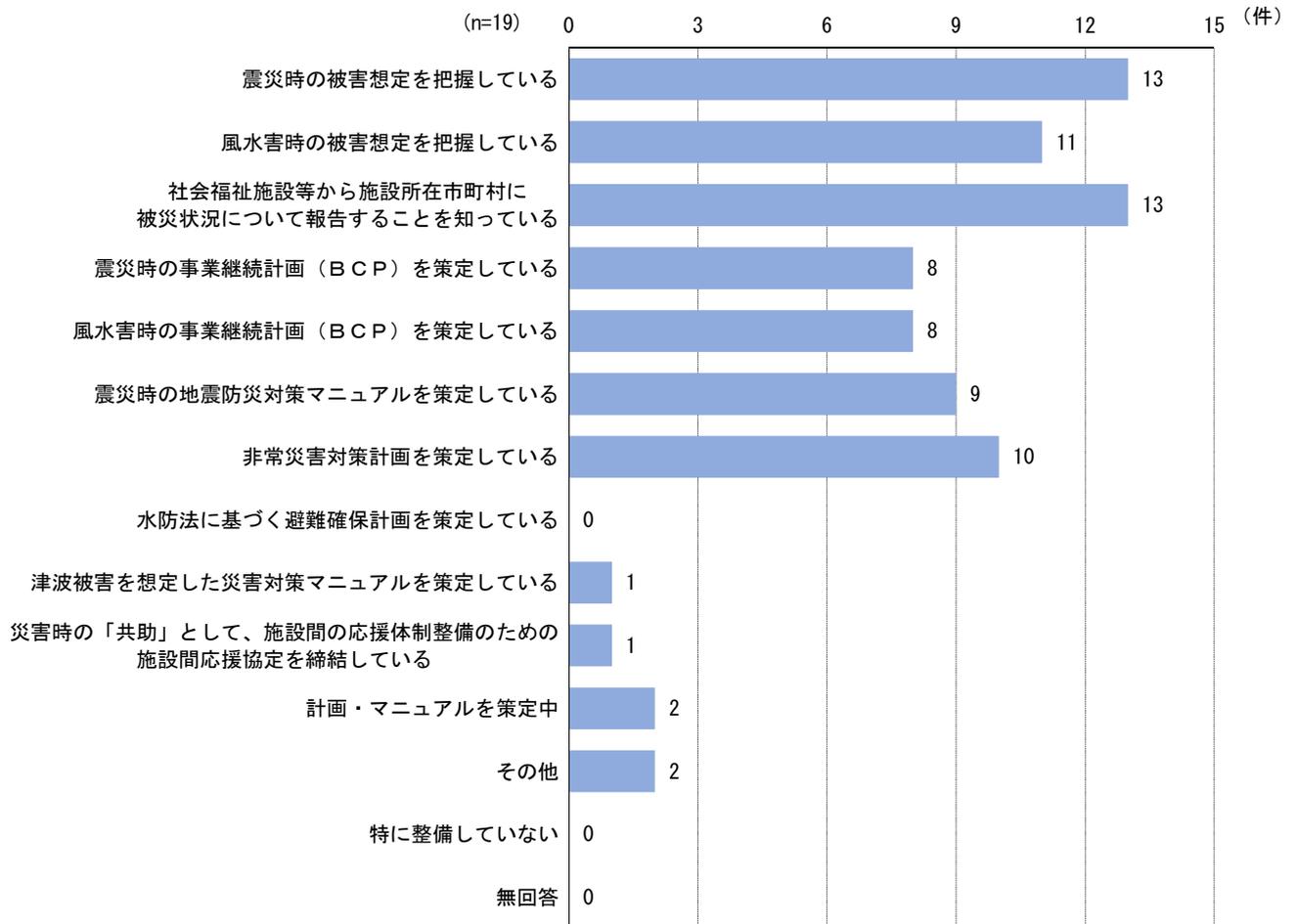
③ サービスの質向上のための取組

サービスの質の向上のために重点的に取り組んでいることとしては、「サービス担当者会議への参加」が9件と最も多く、次いで「サービス利用者の満足度調査の実施」が8件、「サービス提供マニュアルの作成」が7件となっています。



④ 災害発生時の対策の実施状況

災害発生時から業務復旧までの計画等の対策の実施状況としては、「震災時の被害想定を把握している」「社会福祉施設等から施設所在市町村に被災状況について報告することを知っている」がそれぞれ13件と最も多く、次いで「風水害時の被害想定を把握している」が11件となっています。



<その他のご意見>

内 容	件数
大淀 D-WAT 計画による災害時の対応について検討している。	1件
損害保険の会社と連携しながら、災害警報発令時への対応等について利用者への発信を行っている。	1件
防災マニュアル	1件

⑤ 新型コロナウイルス感染症の影響、自由意見

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）による影響や今後の対策について自由にご記入いただいたところ、17の事業所からのべ47件のご意見があり、主な内容は以下のとおりとなっています。

内 容
<p>■サービスの提供を制限、中止した(9件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移動支援等を使った外出が出来なかった。 ・児童通所事業を一時休止とした。 など
<p>■会議等の業務に支障があった(5件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人材育成(職員)のための外部研修がほぼ中止となった。 ・サービス担当者会議を開くとき関係機関の招集が難しかった。 など
<p>■利用者が減った、新規利用者が増えない(4件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急事態宣言時、放課後デイサービスの利用者が半減した。 ・外出自粛等によるサービス利用の低下による売り上げの減少。 など
<p>■行事、イベントの中止(3件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行事を中止、変更した。 ・都市部への外出や大人数集まっのプログラムの中止など、活動には大きな影響があった。 など
<p>■利用者の仕事、工賃への影響(2件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急事態宣言の発出時に利用を控える方がおられたB型において、自主生産品の販売会などイベントがなくなり工賃へ影響がみられた。 など
<p>■その他サービス提供について(4件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用される人の生活リズムを崩さないためにもできる限り開所して取り組んでいるが、生活の安定と命を守るという視点を天秤にかけたときに何が正しい選択なのか判断に悩み、明確な指針を打ち出せない。 など
<p>■感染症対策の徹底(6件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急事態宣言時はもちろん、コロナ発生時から、必要な情報や対応について文書により通知、対策。 ・基本的な感染対策を徹底していた。今後も、家庭内感染が起きないように対応をしていきたい。 など
<p>■感染予防のための備品の確保(4件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マスク、アルコールが入手できなかったため、毎日お店を探し回った。 ・感染拡大初期に、消毒液など感染防止対策に必要な物品の確保の難しさがあった。 など
<p>■対策のしづらさがあった(2件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設自体が狭く、ソーシャルディスタンスをなかなか取りづらかった。 など
<p>■感染への不安、感染者が出た場合の対応など(3件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者、職員ともにストレスがたまっている。 など
<p>■その他(3件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ対策のための大淀町からの様々な援助がありがたかった。 など
<p>■特に影響はなかった(2件)</p>

(4) 障がい福祉に関する団体ヒアリング調査結果**① 障がいに関する理解が普及しているかどうか、また、差別や虐待に関すること**

主な意見
<ul style="list-style-type: none"> ・障がいに対しての理解や対応に関しての啓発は大切だと思う。 ・災害時の避難や医療器具の電源確保について、配慮していただける話がでている。 ・障がい者に気づいていても、見て見ぬふりをする人が多いように思う。

② まち中や家の中で障がい者が不便と感じていること、改善されたと思うこと

主な意見
<ul style="list-style-type: none"> ・外出時、おむつ交換をする場所がない。 ・まちの中では、いろいろな人が声かけや手助けをしてくれるようになった。 ・人の視線が気になって外出できない方もいる。

③ 災害時・緊急時などに障がい者等のいる世帯の情報を地域で共有することについて

主な意見
<ul style="list-style-type: none"> ・災害時、まわりに助けてもらえるよう、平常時より存在を知っておいてもらいたいと思う。 ・当事者のプライバシーを守りながら地域で共有してもらいたい。 ・区ごと又は班ごとで障がい者の情報を共有できるような地域づくりがあれば良い。

④ 成年後見制度の利用や「親亡き後」等について

主な意見
<ul style="list-style-type: none"> ・成年後見制度については制度の理解が難しい。 ・親亡き後に備え、グループホーム等にスムーズに入れるように、施設の受入れが充実すれば良い。 ・サービスの内容が分からない。利用できるサービスを広報や窓口で教えて欲しい。

⑤ 障がい児・者に対する福祉サービスについて

主な意見
<ul style="list-style-type: none"> ・医療面を充実して欲しい。また、看護師や医師の連携が密であって欲しい。 ・福祉サービスの手続きについて、当事者本人が簡単に手続きできるように改善して欲しい。 ・サービスの内容が分からない。利用できるサービスを広報や窓口で教えて欲しい。

⑥ 今後、特に力を入れて取り組むべきと思われる障がい者施策

主な意見
<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の緊急時に対応してもらえる体制を整えて欲しい。 ・点字ブロックの設置、音響信号の設置等を進めていただきたい。 ・地域に働ける場所、作業所、グループホーム等を増やして欲しい。

⑦ 障がい者の自立に向けて、本人やご家族、事業者、行政、地域が果たすべき役割

主な意見
<ul style="list-style-type: none"> ・拠点となる場所がないように思う。拠点があれば、家族も参加し、いろいろなことができると思う。 ・地域住民の理解と見守りが必要だと思う。 ・障がい者も健常者も共に地域で暮らしやすい社会をつくる。